

中期計画の3本柱

1. 地域活性化に向けた地域社会の課題解決への取組強化



基本方針

地域社会・産業構造における根本的な課題解決に向け、従来の取組みをより一層強化するとともに、地方公共団体や各

事業者と連携・協業するなか、当社グループが中心となって地方創生に係る新たなビジネス展開を進めてまいります。

取巻く環境と課題認識

地域内産業の地域外流出、都市部への人口流出、「まちづくり」の担い手不足、市街地中心の建物の老朽化、ホテル・オフィス不足、コロナ禍によるインバウンド需要の低迷、地域経済の縮小（地域内GDPの減少）が見られます。

地方公共団体における地方創生が、戦略立案フェーズから施策実行フェーズに移行し、具体的な案件の増加が見込まれ、地域活性化・地方創生の取組みの重要性が増しています。

重点戦略

各種団体・協業者とのリレーションを強化するとともに、各案件の「川上」にある地域社会の「課題設定」への能動的な取組み等による新たなビジネス展開を進めることで、地域活性化・地方創生に貢献してまいります。

主な注力分野

【これまでの取組みの一層強化】

- ・都市再開発・観光振興
- ・行政向けコンサルティング

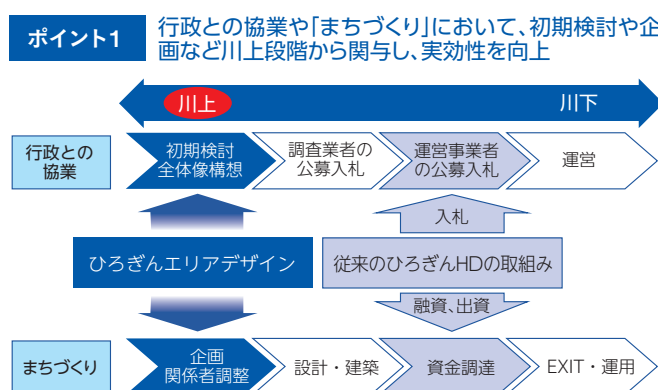
【新たなビジネス展開】

- ・地域課題解決・産業育成

地方活性化・地方創生

新会社設立等、機能強化を図り、地方公共団体や各事業者と連携・協業する中、地方創生に係る新たなビジネスを展開

「まちづくり」「地域課題解決」への貢献を切り口としたビジネスの展開



従来のひろぎんホールディングスは、行政との関係では公募事業への入札や、まちづくりでは案件が具体化した後の資金調達の段階に主に関与してまいりました。

さらに、ひろぎんエリアデザインは、地域と共に、川上段階から課題に向き合い、案件に関与することで、それぞれの取組みの実効性を向上させ、より魅力的な暮らしの創造に貢献してまいります。

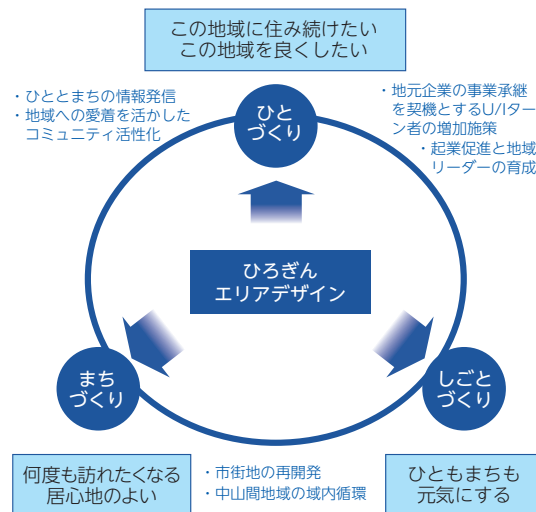
ひろぎんエリアデザインの取組み

ひろぎんエリアデザインでは、「ひとづくり」、「まちづくり」、「しごとづくり」の3つのテーマを結び付け、地域をデザインしていきます。

具体的には「ひとづくり」であれば、この地域に住み続けたい人やこの地域を良くしたい人を増やし、その方々を応援します。「まちづくり」であれば、何度も訪れたい、居心地のよい街を創り、「しごとづくり」であれば、人も街も元気にする仕事創りに貢献します。

実際の活動では、ひと・まち・しごとのそれぞれにまたがるため、「ひと」「まち」「しごと」の単体での効果ではなく、複次的な効果を上げられるような活動を行い、「地域をデザインする」という呼び名にふさわしい、地域にインパクトを与える活動を実施してまいります。

ポイント2 「ひとづくり」「まちづくり」「しごとづくり」を、ひろぎんエリアデザインが有機的に結び付けることで地域に新しい価値を創造



TOPICS

観光振興

地域の観光インフラに積極的に関与

- ・せとうちDMOの設立
- ・地域商社事業への参画
- ・広島空港民営化への参画

都市再開発

都市再開発案件に川上段階から関与し、地域活性化に資する施策を展開

【事例】ヒルトンホテル誘致

不動産開発に留まらず、コンベンション施設としての活用、雇用の創出等、「ひとづくり」「まちづくり」「しごとづくり」に複合的なインパクトを与え、地域の新しい価値の創造に貢献

